

## 5) クロス集計による分析結果

我が国において行った調査結果についてこれまでの分析では、外国人女性の売春にかかわる実態について分析した。ところで、今回の調査の対象となる外国人女性の事例が全てトラフィッキングということではない。そこで、今回の調査の項目からトラフィッキングの問題に的を絞って分析することにする。

トラフィッキングという要件と関連することはまず、売春をしていること、特に売春を強要されていることである。そこで、売春の状況の質問項目を基に他の項目とのクロス集計を行ってみた。また、雇用主に債務があることもトラフィッキングにつながることを考え債務の有無、新しい債務の有無の項目を基にクロス集計を行った。なお、クロス集計では簡明を期すために全ての項目の無効回答の人数を削除したので前項と数値が異なることがある。

### a. 売春の状況によるクロス集計

前項のように対象者 257 人のうち、売春を行っていた者は 100 人、そのうち売春を強要されていた者は 20 人である。統計学的には十分な人数とは言えないが、この売春を強要されていた者について分析してみる。

まず、売春状況と国籍との関係を見る。この表のみ国別に 100%となるように表を作ったが、売春を強要されている者はタイに多いと言える。

【国籍と売春のクロス表】

項目		売 春 状 況					合計
		売春クラブ	スナック 売春	売春強要	街娼	売春なし	
韓国	人数			1	3	69	73
	%			1.4	4.1	94.5	100
フィリピン	人数	3	2	1	1	18	25
	%	12	8	4	4	72	100
タイ	人数	17	35	16	6	12	86
	%	19.7	40.7	18.6	7	14	100
コロンビア	人数	3	1		1		5
	%	60	20		20		100
その他	人数	2	2	2	4	38	48
	%	4.2	4.2	4.2	8.3	79.1	100
合 計	人数	25	40	20	15	137	237
	%	10.5	16.9	8.4	6.3	57.9	100

売春状況と入国費用との関係は、売春なしでは、入国に多額の費用がかかっている者は少なく、79.3%は50万円以下である。しかし、売春を強要された者は入国費用が多額で、6人が200～400万円、5人が400万円以上かかっている。

【入国費用と売春のクロス表】

項目		売 春 状 況					合計
		売 春 クラ ブ	スナック 売 春	売 春 強 要	街 娼	売 春 なし	
50万円未満	人数	10	8	4	5	69	96
	%	47.6	25	26.7	71.4	79.3	59.2
50万円～ 100万円未満	人数		3			8	11
	%		9.4			9.2	6.8
100万円～ 200万円未満	人数	1			1	4	6
	%	4.8			14.3	4.6	3.7
200万円～ 400万円未満	人数	5	17	6	1	6	35
	%	23.8	53.1	40	14.3	6.9	21.6
400万円以上	人数	5	4	5			14
	%	23.8	12.5	33.3			8.7
合 計	人数	21	32	15	7	87	162
	%	100	100	100	100	100	100

職の斡旋者は、売春強要では6人(31.6%)が、エージェントであり、売春なしの17人(19.5%)より多い。売春クラブも12人(52.2%)がエージェントであり、売春とエージェントとは関係が深い。

【職の斡旋者と売春のクロス表】

項目		売 春 状 況					合計
		売 春 クラ ブ	スナック 売 春	売 春 強 要	街 娼	売 春 なし	
エージェント 等	人数	12	6	6	2	17	43
	%	52.2	17.1	31.6	18.2	19.5	24.6
友 人	人数	6	14	3	3	46	72
	%	26.1	40	15.8	27.3	52.9	41.1
家 族	人数	2	1	1		6	10
	%	8.7	2.9	5.3		6.9	5.7
広 告	人数	1		2	2	1	6
	%	4.3		10.5	18.2	1.1	3.4
その他	人数	2	14	7	4	17	44
	%	8.7	40	36.8	36.3	19.6	25.2
合 計	人数	23	35	19	11	87	175
	%	100	100	100	100	100	100

売春状況と雇用主などへの新たな債務の有無についてみると、売春をしていない者で新たな債務がある者は5人(3.8%)なのに対して、売春を強要されていた者は6人(30.0%)となる。ちなみに、売春クラブでも20.8%、スナック等売春でも14.7%が債務がある。売春と債務とは関連があると言えよう。

【新債務と売春のクロス表】

項目 債務の 有無		売 春 状 況					合計
		売春クラブ	スナック売春	売春強要	街娼	売春なし	
あ り	人数	5	5	6	1	5	22
	%	20.8	14.7	30	8.3	3.8	10
な し	人数	19	29	14	11	125	198
	%	79.2	85.3	70	91.7	96.2	90
合 計	人数	24	34	20	12	130	220
	%	100	100	100	100	100	100

また、売春を強要され新たな債務のある者の全てが200万円以上の債務をかかえている。

【新債務の金額と売春のクロス表】

項目 金額		売 春 状 況					合計
		売春クラ ブ	スナック 売春	売 春 強 要	街娼	売春なし	
50万円未満	人数					1	1
	%					33.3	4.8
50万円～ 200万円未満	人数		1		1	1	3
	%		25		50	50	14.3
200万円～ 400万円未満	人数	5	3	5	1	1	15
	%	100	75	71.4	50	33.3	71.4
400万円以上	人数			2			2
	%			28.6			9.5
合 計	人数	5	4	7	2	3	21
	%	100	100	100	100	100	100

売春を強要されている人はどんな人なのか検討するため、売春状況と本人の諸特性との関係について見る。年齢との関係では、売春を強要されている者のうち、1人(5.0%)は1~20歳、5人(25.0%)は21~24歳、9人は25~30歳で、売春をしていない者より若い。

【年齢と売春のクロス表】

項目 年齢(歳)		売 春 状 況					合計
		売春クラブ	スナック売春	売春強要	街娼	売春なし	
1~20	人数			1		2	3
	%			5		1.5	1.3
21~24	人数	3	2	5		14	24
	%	12	5	25		10.2	10.1
25~30	人数	8	17	9	7	32	73
	%	32	42.5	45	46.7	23.4	30.8
31~35	人数	5	12	2	1	34	54
	%	20	30	10	6.6	24.8	22.8
36~	人数	9	9	3	7	55	83
	%	36	22.5	15	46.7	40.1	35
合 計	人数	25	40	20	15	137	237
	%	100	100	100	100	100	100

学歴との関係では、売春をしない者で義務教育以下の学歴の者は3割に満たないのに対して、売春強要では19人中16人が義務教育以下であり、売春を行う者全般にも低学歴の傾向がある。

【学歴と売春のクロス表】

項目 学歴		売 春 状 況					合計
		売春クラブ	スナック売春	売春強要	街娼	売春なし	
義務教育 未了	人数	1	8	6	2	11	28
	%	4.2	21.1	31.6	13.3	8.2	12.2
義務教育 終了	人数	11	19	10	9	26	75
	%	45.8	50	52.6	60	19.4	32.6
高校中退	人数	3				6	9
	%	12.5				4.5	3.9
高校卒業	人数	6	9	2	2	70	89
	%	25	23.6	10.5	13.3	52.2	38.7
専門学校 卒業	人数	2	2	1	2	8	15
	%	8.3	5.3	5.3	13.3	6	6.5
大学卒業	人数	1				13	14
	%	4.2				9.7	6.1
合 計	人数	24	38	19	15	134	230
	%	100	100	100	100	100	100

渡航前の収入との関係では、売春を強要されていた者 18 人のうち 14 人 (77.7%) が 1 万円未満であり、貧しい者が多い。売春なしでは 27 人 (27.0%) がこの月収である。

【渡航前の月収と売春のクロス表】

項目		売 春 状 況					合計
		売春クラブ	スナック売春	売春強要	街娼	売春なし	
1 万円未満	人数	12	20	14	4	27	77
	%	54.6	58.8	77.7	44.5	27	42.1
1~3 万円未満	人数	6	11	1	2	19	39
	%	27.4	32.4	5.6	22.2	19	21.3
3~5 万円未満	人数	1	1	1	3	21	27
	%	4.5	2.9	5.6	33.3	21	14.8
5~10 万円未満	人数	1				12	13
	%	4.5				12	7.1
10~15 万円未満	人数	1	2			13	16
	%	4.5	5.9			13	8.7
15 万円以上	人数	1		2		8	11
	%	4.5		11.1		8	6
合 計	人数	22	34	18	9	100	183
	%	100	100	100	100	100	100

入国理由は、売春強要では家計が苦しくてが 16 人 (80.0%) で大変に多いが、売春なしではこの割合は 66 人 (49.6%) である。

【入国理由と売春のクロス表】

項目		売 春 状 況					合計
		売春クラブ	スナック売春	売春強要	街娼	売春なし	
雇用をあっせんされたので	人数	2	1	1	1	8	13
	%	8.3	2.5	5	7.7	6	5.7
家計が苦しくて	人数	18	27	16	6	66	133
	%	75	67.5	80	46.2	49.6	57.8
観光	人数	3	1	1		7	12
	%	12.5	2.5	5		5.3	5.2
家族・友人を訪ねて	人数		3		1	22	26
	%		7.5		7.7	16.5	11.3
その他	人数	1	8	2	5	30	46
	%	4.2	20	10	38.5	22.6	20
合 計	人数	24	40	20	13	133	230
	%	100	100	100	100.1	100	100

b. 新たな債務との関係

雇用主等に新たな債務を持つ者は19人である。このうち11人が渡航前の月収が1万円未満と貧しい。

【渡航前の月収と新債務のクロス表】

項目 渡航前月収		新 債 務		合計
		あり	なし	
1万円未満	人数	11	63	74
	%	57.9	39.6	41.6
1～3万円 未満	人数	5	32	37
	%	26.3	20.2	20.8
3～5万円 未満	人数	3	25	28
	%	15.8	15.7	15.7
5～10万円 未満	人数		12	12
	%		7.5	6.7
10～15万円 未満	人数		17	17
	%		10.7	9.6
15万円以上	人数		10	10
	%		6.3	5.6
合 計	人数	19	159	178
	%	100	100	100

雇用主等に新たな債務を持つ者のうち18人は入国理由が、家計が苦しいからである。

【入国理由と新債務のクロス表】

項目 入国理由		新 債 務		合計
		あり	なし	
雇用をあっせん されたので	人数	1	14	15
	%	4.5	6.9	6.7
家計が苦しく て	人数	18	114	132
	%	81.9	56.4	58.9
観光	人数		11	11
	%		5.5	4.9
家族・友人を 訪ねて	人数	1	25	26
	%	4.5	12.4	11.6
その他	人数	2	38	40
	%	9.1	18.8	17.9
合 計	人数	22	202	224
	%	100	100	100

## 6) まとめ

外国人女性の売春の実態について分析したところ、彼女らは家計が苦しいので日本に来ており、彼女らの多くは家族等に送金している。売春行為に関してもこれを強要されている者は多くはない。つまり、外国人女性による売春の問題は全体としては、貧困や経済的格差が生んだ好ましくない問題ではあるが、トラフィッキングの問題とは言えないことが多いようである。

他方、売春を強要されたり、雇用主に多額の債務があったりする者もその数は、そうでない者に比べてかなり少ないが、確かにいる。そしてこのような者は、より貧しく、低学歴である。そして、売春を強要されている場合には、高額な債務があり、職の斡旋にはエージェントが関係している事が多い。この意味でわが国においても外国人女性のトラフィッキングの問題が存在すると言える。そして、外国から女性を日本に入国させ、売春を行う店に手配するエージェントが関与する場合に、特に女性たちが上記のような過酷な状況にあることが多いことから、エージェントたちがトラフィッキングを行っている者であると言え、エージェントに対する対策が必要であろう。